

第3学年外国語活動学習指導案

1. 日時 10月15日(金) 第5校時

2. 学年 第3学年

3. 場所 3年生教室

4. 単元名

(Unit5 What do you like? 何が好き?)

5. 児童について

本学級の児童は、4月から外国語活動の授業において、表情やジェスチャーを工夫しながら、外国語を用いて挨拶や自己紹介をしたり、感情や状態、数を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんできた。聞くことの領域においては、ALTとのTTの際には、ALTの話に熱心に耳を傾けたり、英語を使った言語活動に夢中になって取り組んだりする姿が見られるなど、英語を用いてコミュニケーションを図ることを楽しみながら授業に参加している。その積極的な姿勢は、話すこと(やり取り)の領域におけるペアトークやグループ活動においても同様である。一方で、やり取りの中では、英語の言語での表現に終始し、ジェスチャーや表情で相手に伝えることに消極的な児童も見られる。

本学級の児童は、様々なもの・ことに対しての興味・関心が高い集団であるので、自信をもって自分の伝えたいことを他者に伝えられるようにしていきたい。

6. 単元について

(1) 教材について

Unit4に続き、「好きなもの」が題材である。Unit4では「あるものについて、好きかどうかを尋ねる」表現を扱ったが、このUnitでは、「あるカテゴリーの内から、何が好きかを尋ねる」表現への慣れ親しみが中心となる。同時に、スポーツ・飲食物・果物・野菜などに関して、多くの新しい語と出会い、What ○○ do you like? など、使用する表現も豊かになるため、これまで以上に「やり取り」の楽しさが味わえる単元になると思われる。また、「Do you like?」や「What ○○ do you like?」を用いたsmall talkを取り入れることで、既出の表現に慣れ親しませることや、新出の表現であっても意味を推測しながら聴く活動を活性化できるようにする。

(2) 使用する表現 (○) や語彙 (●)

[新出]

○What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like soccer.

●what, color,

●スポーツ(sport, volleyball, table tennis)

●飲食物(food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam)

●果物・野菜(fruit, grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)

[既出]

○挨拶等 Hello! / Hi. / Oh, nice. / I see. / Thank you.

○Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't.

●数(1~20), 色, 果物・野菜, 飲食物, スポーツ

(3) 指導について

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語活動・外国語編の 3 指導計画の作成と内容の取扱い(2)内容の取扱いの中で、「カ 各単元や各時間の指導に当たっては、コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すことにより、児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができるようにすること」が配慮事項として挙げられている。

本単元においては、次のように目的・場面・状況を設定し、パフォーマンス課題を考えた。

目的：3年生のおすすめランキングを作る

場面：クラスメイト全員にインタビューする

状況：[] に対しておすすめするものを考える

パフォーマンス課題

「クラスメイトにインタビューして [] へのおすすめランキングをつくろう」
日本の文化や食べ物が好きな [] に、おすすめランキングをつくり、紹介したいと思います。クラスメイトに英語でインタビューして好きなものを聞き取り、私たちがおすすめするものをランキング形式でまとめましょう。そして、ジェイ先生に紹介しましょう。

このパフォーマンス課題は、単元冒頭で児童に示す。課題解決のための必然性を生み出すために、第 1 時では、前 Unit の復習という形で ALT の好きなものについて話している動画を児童に見せる。単元設計に当たっては、単元のゴールから遡って 1 時間ごとの目標を定め、各時間の学習活動を組み立てる。また、児童が、伝えたい「内容」だけでなく、「どのような英語を使えばいいのかな？」と伝えるための「英語表現」も思考・判断・表現することができるように単元を設計する。ALT が話している動画から、どんなカテゴリー（内容）を選択しランキングを作るのかを考え、ランキングを作るためには、What ○○ do you like?（英語表現）を使ってクラスメイト全員に質問をすればよいといったことが考えられる展開にする。

各時間の学習においても、その時間のゴールからバックワードデザインで学習活動を設定する。各授業の導入段階では、ピクチャーカードを使って、様々なカテゴリーの英語に慣れ親しみ、ペア活動の中で活用できるようにする。主となる表現である「I like ~.」や「What ~ do you like?」は単元を通して、また、1 単位時間の授業の中で繰り返し使っていき、慣れ親しませていく。

児童同士のやり取りが自然な会話になるように、会話の最初の挨拶や、やり取りの中でのリアクション、最後の挨拶などで既出の表現を使うことができるように、活動の前にやり取りのモデルを示す。やり取りをする活動は 1 回で終わらせるのではなく 2 回に分け、言えなかった表現等を確認する時間を確保し、確認した後、その表現を使ってやり取りを再開させるようにする。児童が英語を自然に使えるようにするために、指導者自身が「Me, too!」や「Good idea!」、 「Nice try!」など、同意やはげましの表現をしっかり使い、英語を話せる雰囲気をつくるようにする。

振り返りでは、「友だちが使っていた表現で、使ってみたいと思った表現はありますか」といった形で、活動で使った様々な表現を振り返らせ、自分も使ってみようという意欲を喚起させるようにするとともに、既出表現等の表現を、新出表現と併せて使っていき、そのよさを価値づけていく。

(4) 「話すこと [やり取り]」のルーブリック評価

	英語表現	発表内容	伝える工夫 (表情・動作・声)
5	・当該単元の表現だけでなく、伝える目的や場面、状況や相手に応じて、これまでの既習事項も用いて、尋ねたり答えたりしている。	・伝えたい内容が未習の表現であっても、既習の表現を用いて、自分の思いや考えを伝えようとしている。	・豊かな表情でアイコンタクトやジェスチャーを効果的に用いたり、相手の発表に対して反応したりしている。 ・伝える声の大きさやスピードが的確である。
3	・当該単元のやり取りをするのに必要な表現を用いて、尋ねたり答えたりしている。	・自分の伝えたい内容を伝えることができている。	・アイコンタクトやジェスチャーを何とか用いようとしている。 ・聞こえる声で伝えている。
1	・当該単元の表現を使うために他者のサポートを受けながら、尋ねたり答えたりしている。	・自分の伝えたい内容を伝えようとしていない。	・アイコンタクトができておらず、ジェスチャーも用いようとしていない。 ・声が相手に届きにくい。

7. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やり取り]	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

8. 単元の目標

ALT の [] におすすめるもののランキングをつくるために、相手に伝わるように工夫しながら、スポーツや果物など、身の回りの物について、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

9. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
スポーツや果物など、身の回りの物について、What ○○ do you like?や I like △△. を用いてあるカテゴリーの内から何が好きかを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	ALT のジェイ先生におすすめるもののランキングをつくるために、相手に伝わるように工夫しながら、スポーツや果物など、身の回りの物について、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	ALT のジェイ先生におすすめるもののランキングをつくるために、相手に伝わるように工夫しながら、スポーツや果物など、身の回りの物について、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

10. 指導と評価の計画（単元の指導計画）（全4時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）【 】	評価			
		知識	思 判 表	態 度	評価規準<方法>
1	◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、身の回りの物の言い方を知る。				
	<p>【Small Talk】ALTの [] が好きなものについて話している動画を観る。 ・“I like ~.”の復習と本単元におけるパフォーマンス課題を知り、活動への見通しをもつ。 ○指導者の話から、身の回りの物の言い方を知る。 【Let's Play】おはじきゲーム p.18,19 ○指導者の話から、何が好きかを尋ねる表現の言い方を知る。 【Let's Chant】What do you like? p.19</p>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◆身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。				
	<p>○ミッシングゲーム 【Let's Chant】What do you like? p.19 【Let's Listen】 p.20 ・音声を聴いて、それぞれの登場人物が好きなものを選んで結ぶ。 【Let's Watch and Think】 p.21 ・登場人物の好きなものを予想し、尋ねる。 ○What ○○ do you like?を使って尋ねる。 ・ペアで互いに好きなものを尋ねたり答えたりする。</p>	○	○	◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	
3 本時	◆何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。				
	<p>【Let's Chant】What do you like? p.19 ○ピクチャーカードを使った語彙確認 ○ステレオ・ゲーム 【Activity1】 p.20 ・友達の好きなもの（果物、色、スポーツ）を予想して尋ね合う。 【Activity2】 p.21 ・ALT へのおすすめランキングをつくるために、どのようなカテゴリーについてたずねるかを考え、発表し、尋ね方を練習する。</p>		○	○ ◎何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード分析〉	
4	◆相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。				
	<p>・ALT の [] 好きなものについて話している動画を再度視聴する。 【Let's Chant】What do you like? p.19 【Activity2】① p.21 ・友達に好きなものを尋ねたり答えたりしてインタビューする。 【Activity2】② ・前時に考えたカテゴリーの中で好きなものを尋ねたり答えたりしてインタビューする。 ○グループごとにインタビュー結果を集計し、おすすめランキングを作る。 ○ジェイ先生に3年生のおすすめランキングを紹介するために動画を撮影する。</p>	○	○	○ ◎相手に伝わるように工夫しながら好きなものを尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・振り返りカード分析〉	

11. 本時の指導 (3/4)

(1) 本時のねらい

友達に何が好きかを尋ねたり、自分は何が好きかを答えたりする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	備考・評価
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ABC Song を歌う。 本時の学習のめあてと学習の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアであいさつする。 単元末のゴールを再確認する。 本時の流れを、ホワイトボードで示しておく。 	
友達に何が好きかをたずねたり、自分は何が好きかを答えたりしよう。			
4分	○ミッシング・ゲーム 【Let's Chant】 What do you like? ・音声に合わせてチャンツを言う。	<ul style="list-style-type: none"> 既習の語彙を扱い、全ての児童が学習の土俵に上げられるようにする。 児童たちと一緒にチャンツを歌う。 「ゆっくり」と「ふつう」を使い分け、段階的に練習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師用カード (食べ物) 児童用テキスト デジタル教材
6分	<ul style="list-style-type: none"> ピクチャーカードを使って、語彙練習をする。 黒板に貼ったピクチャーカードの 카테고리を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 色、果物、スポーツのピクチャーカードを使い、リズムよく語彙に親しませる。 カテゴリーを確認する活動を通して、カテゴリーを意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師用カード (色、果物、スポーツ)
5分	○ステレオ・ゲーム What ~ do you like? I like ~.	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ・ゲームを通して、何が好きかと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができるようにする。 ゲームを行う前に、What ○○ do you like?の表現を確認する。 	
ステレオ・ゲームの進め方 ①sport, fruit, color のカテゴリーの中から1つを決める。 ②代表児童 2~4 名が、黒板に貼ってあるピクチャーカードから選択する。 (最初は 2 名で行い、3 名、4 名と徐々に人数を増やしていく。) ③他の児童全員で「What ○○ do you like?」と尋ねる。 ④代表児童は、同時に、I like △△. と自分の好きなものを答える。 ⑤誰が何と言ったかを当てる。(やり取りとして、Do you like △△?を取り入れる。)			
12分	【Activity1】 (例) C1:Hello! Do you like ○○? C2:No, I don't. C1:What □□do you like? C2:I like ××. C1:Oh, I see. Thank you.	<ul style="list-style-type: none"> 3名の友だちが好きな「果物」「色」「スポーツ」を予想させた上で、好きなものを尋ね合うことができるようにする。 児童たちのやり取りが自然なものとなるように、会話の中で挨拶や反応など、できていた児童を賞賛する。 一人目と尋ね合った後、どのようなやり取りを行ったのか確認する。そして、言いたかったけれど言えなかった表現などがあるのか、中間のふりかえりを行い、やり取りを再開する。 	◎何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りカード分析)
10分	【Activity2】 ・ALT へのおすすめランキングをつくるために、カテゴリーを考え、全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が考えたカテゴリーを短冊にし、黒板に貼って分類する。 新出カテゴリーについて、What ○○ do you like?を使って尋ねる練習を行い、次時への活動につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短冊 (21 名分) マーカー
5分	○振り返り ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使おうとする態度や、本時のねらいについて児童たちのよかったところを賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカード

12. Activity1における児童のやり取りのイメージ（※太字は、中間のふりかえりで取り上げたい表現）

<p>やり取り（例1） C1: What fruit do you like? C2: I like strawberries. C1: What color do you like? C2: I like yellow and green. C1: What sport do you like? C2: I like swimming</p>	<p>やり取り（例5） C1: Hi, 「名前」. What fruit do you like? C2: I like strawberries. C1: What color do you like? C2: I like yellow and green. C1: What sport do you like? C2: I like swimming C1: Swimming? Me, too. Thank you.</p>
<p>やり取り（例2） C1: Do you like ○○? C2: No, I don' t. C1: What △△ do you like? C2: I like ××.</p>	<p>やり取り（例6） C1: Hello, 「名前」. What fruit do you like? C2: I like bananas. C1: Oh, you like bananas. What color do you like? C2: I like blue. C1: Oh, you like blue. Me, too. What sport do you like? C2: I like volleyball and swimming. C1: Oh, you like volleyball and swimming. Thank you.</p>
<p>やり取り（例3） C1: Hello. Do you like ○○? C2: No, I don' t. C1: What △△ do you like? C2: I like ××. C1: Thank you. See you. C2: See you.</p>	<p>やり取り（例7） C1: Do you like ○○? C2: No, I don' t. C1: Do you like △△? C2: No, I don' t. C1: Do you like ××? C2: Yes, I do.</p>
<p>やり取り（例4） C1: Hello, 「名前」. What fruit do you like? C2: I like bananas. C1: Oh, nice. What color do you like? C2: I like blue. C1: I see. What sport do you like? C2: I like volleyball and swimming. C1: Thank you.</p>	

13. 板書計画

Unit 5 J先生に、3年生のおすすめランキングをしようかいしよう。

友達に何が好きかをたずねたり、自分は何が好きかを答えたりしよう。

10/15 5限
 ①あいさつ
 ②ミッシング・ゲーム
 ③チャンツ
 ④ステレオ・ゲーム
 ⑤Activity 1
 ⑥Activity 2
 ⑦ふりかえり

スポーツ ピクチャーカード

フルーツ ピクチャーカード

色 ピクチャーカード

短冊

リフレクション
 ・
 ・
 ・

参考資料

- ・「新3観点の評価づくり完全ガイドブック小学校外国語活動」 菅 正隆（明治図書）
- ・『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料小学校外国語・活動」 国立教育政策研究所
- ・「新学習指導要領に対応した小学校外国語教育新教材について」 文部科学省
- ・「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式（案）」 大分県教育委員会
- ・「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指してーコミュニケーションを図る素地・基礎づくりを通してー」 白浜町立日置小学校 教諭 川野 哲史 和歌山県教育センター学びの丘平成29年度研修員研究集録